

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	夫婦身長差(父親身長-母体身長)と分娩停止による帝王切開の関連(単施設後方視的コホート研究)
研究責任者	聖隷浜松病院 産婦人科 新里萌
研究実施体制	単施設の後方視的コホート研究 データは聖隷浜松病院から集積する
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2028 年 12 月 31 日
対象者	2023 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に聖隷浜松病院産婦人科において、妊娠 37 週以降に経膈分娩を予定した単胎初産婦さん
研究の意義・目的	<p>分娩停止は児頭骨盤不均衡や娩出力、回旋異常など複数要因が関連する分娩時合併症であり、緊急帝王切開の適応の一つです。緊急帝王切開は母体への身体的精神的負担や入院期間の延長など周産期リスクに加えて、次回妊娠時の癒着胎盤や子宮破裂のリスクにも影響する可能性があります。したがって、分娩停止による帝王切開の予測因子を明らかにすることで妊娠管理中からリスク評価や分娩管理に活かすことは臨床的意義が大きいと考えます。</p> <p>母親の身長は分娩様式と関連する代表的な体格指標であり、母親の低身長は児頭骨盤不均衡や分娩停止に関連し帝王切開のリスクが上昇することが大規模データや複数のコホート研究で示されています。また、胎児の骨格は父親因子の関与も想定されており、父親の身長が胎児の大きさに影響することが報告されています。</p> <p>しかし、分娩停止における帝王切開の検討において、母親の身長に着目した研究は多いが、父親因子を相対化した指標として夫婦の身長差という視点で、検討したデータは限られており、特に日本人に特化したデータの検証は乏しい状況です。</p> <p>そこで、本研究では日本人夫婦を対象に夫婦の身長差(父親身長-母親身長)と分娩停止による帝王切開の関連を検討することを目的とし、夫婦の身長差が大きいほど分娩停止による帝王切開率が上昇すると仮説を立てました。</p>
研究の方法	<p>カルテ・診療録を用いた後方視的コホート研究です。</p> <p>対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>当院で妊娠初期に実施している問診票(父親身長、母体身長、初産)、経過サマリから分娩様式情報。</p> <p>主要評価項目は分娩停止による帝王切開の有無であり、母体身長および夫婦身長差と分娩停止による帝王切開との関連はロジスティック回帰分析により評価し、調整オッズ比(aOR)と 95%信頼区間を算出。母体身長(per10cm)、年齢、BMI で調整し、統計学的有意水準は $P<0.05$ とした。</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除し

	<p>た上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
個人情報開示に係る手続き	<p>個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。</p>
資料の閲覧について	<p>ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
問い合わせ窓口	<p>聖隷浜松病院 産婦人科（氏名）新里萌 TEL:053-474-2222（代表）産婦人科外来 9:00～17:00 平日</p>